

## 【 徳島県阿波市 】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

児童生徒の発達段階に応じてICTを活用しつつ、教職員が対面指導及び家庭や地域社会と連携した遠隔・オンライン教育とを使いこなす（ハイブリッド化）ことで、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図る。

#### 2. GIGA第1期の総括

本市は、令和2年に国が示した「標準仕様書」をもとに徳島県の共同調達に参加し、GIGAスクール構想第1期の整備を行なった。児童生徒に1人1台のタブレット端末及び無線環境設備の整備に加え、ICT支援員を配置し、教職員や児童生徒の学習活動のサポートも行なってきた。さらには、時代に合わせた教育情報セキュリティポリシーの改訂を行うなど、ハード、ソフト両面での整備を行なってきた。これにより、GIGA端末の活用が進み、端末やアプリケーションの基本的な操作を覚える段階から、より効果的な活用段階に進んだ学校も増えてきた。

一方で、GIGA第1期の課題としては、以下の2点が挙げられる。

1点目は、ICTの活用実態について、学校間や学年間で大きな差があることである。この解決策として、教職員に対しての校内でのミニ研修等の充実及び校務や研修での利活用を促進し、授業等での実践を重ねていく。

2点目は、タブレット端末や校内ネットワークの不具合が多く、学習に支障を来していることである。この解決策として、堅牢で安定した動作が可能な端末への変更及びネットワークアセスメントの実施により、ボトルネックの所在等を明らかにし、ネットワーク環境の改善を図っていく。

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

##### （1）1人1台端末の積極的活用

教職員の校務や研修において、クラウド活用を前提とした1人1台端末の利活用を促進し、授業はもとより、授業外での活用にも幅を広げていく。また、新しい授業観への転換を図るため、国・県の動向を踏まえ、理論的な研修の充実を図り、端末利活用が目的ではなく、児童生徒の学びを豊かにするための利活用に向けて理解を深めていく。なお、1人1台端末の利活用の前提として、十分な予備機の整備も含めた適切な端末整備・更新により、児童生徒のICT環境を維持するとともに、より一層の活用を目指す。

また、自主学習のための学習支援アプリケーションを活用し、授業及び家庭においても端末を利用する機会が増えるように促していく。

さらに、学校における一層のICT利活用を支援していくため、ICT支援員の学校訪問回数の増加を図る。

##### （2）個別最適・協働的な学びの充実

端末を効果的に活用することにより、児童生徒が、自分の特性や理解度、進度に合わせて学習を進める「個別最適な学び」及び他の児童生徒の多様な取り組みを共有することで、アイデアやヒントを得たり、自分と同じ考えや異なる多様な考えに触れることで、自分の考えをさらに深めるとともにお互いを高め合う「協働的な学び」の充実を図る。

##### （3）学びの保障

特別な支援を必要とする児童生徒の実態等に応じて、端末を活用した支援を実施する。また、希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供する等、様々な困難を抱える児童生徒への支援策として、多様な場面において1人1台端末を活用していく。